

九条北小学校 校長室だより

N0.40 令和7年1月20日



「学校給食」の始まりと言われているのは、明治22年（1889年）、山形県の現在は鶴岡市というところの小学校で、お弁当を持ってこられない子どもがたくさんいたため、無料で食事を提供したことからといわれています。

その後、全国で学校給食が実施されるようになりましたが、戦争による食料不足で一旦中止することが決まりました。戦後、再び、栄養失調の子どもたちを救うために再開されました。



★児童たちがつくった「きゅうしょく川柳」を掲示しています！★

児童集会で、給食委員会が「給食週間」の発表をしてくれました。また、1階の掲示板に、「給食週間」の取り組みで、各学年の児童が考えた「きゅうしょく川柳」を掲示しています。一部紹介します！

おいしいよ きゅうしょくたべて げんきでた(1年)
がんばって すききらいせず たべてるよ(1年)
まだかなと まつきゅうしょくは いいにおい(2年)
きゅう食は かんしゃをこめて いただきます(3年)
毎日の きゅうしょく食べて 元気だな (4年)
おいしいな みんなで食べる きゅうしょくは(4年)
おいしいな 命いただき ありがたさ(5年)
成長は 苦手なものを 食べてこそ(5年)
給食を 日々感謝して いただこう(6年)
いただきます 感謝の気持ちで 手をあわそう(6年)



★「給食週間」について★

先週金曜日に給食委員会よりお知らせがありました。**九条北小学校の「給食週間」は、今日1月20日(月)～24日(金)です。**

給食委員会の発表の中では、「学校給食について」や「給食調理員さんへのインタビュー」などをクイズも交えて紹介してくれました。栄養についてのクイズに、自信をもって自分の答えを示している様子に驚きとうれしさを感じました。

「学校給食」の役割は、時代とともに変化しています。現在では、食べることが困難だったころから大きく変わっています。今では、好きなものを、いくらでも食べることができますよね。好き嫌いで、好きなものばかり食べたりしていませんか。それによって、体の成長や健康に悪い影響が出てくることがあります。だから、**現在の「学校給食」は、バランスのよい食事のお手本としての役割を担っているんです。しっかりと、好き嫌いなく食べるようしましょう！**

「給食週間」の機会に、食材である野菜やお肉などの「命」をいただいていること、そして、作ってくれる方々に感謝して、おいしくいただきましょう。そして、給食の時には、

**おいしい給食を食べることができるごとに感謝し、心を込めて
「いただきます」をしましょう！**

